

ものであり、いずれに重点を置くかは、極めて困難な判断ではあります。現時点では、感染源や感染経路が解明されていないことから、蔓延を防ぐためには全伐採が最良の対策と考えています。今回全伐採を御了解された当該園地の所有者の決断に感謝いたします。

なお、伐採とあわせて市内全域において薬剤防除に取り組みることとしており、こうした取り組みについては、生産者や愛媛たいき農協などで構成するキウイフルーツかいよう病拡散防止対策協議会において協議検討を行い実施しているもので、今後感染が確認された樹木については、同協議会において、伐採を基本的に生産者の協力をお願いするという方針が決定されたところです。今後におきましても、生産者の皆様をはじめ、関係機関との連携を図りながら、キウイフルーツの産地を守るための取り組みに努めてまいりたいと考えています。



観光政策

問 近年、全国各地において観光列車による観光振興が図られる中で、

今年の夏よりJR四国においても観光列車「伊予灘ものがたり」が運行されることになり、観光や地域の活性化が図られることと期待しているところである。これを機会に大洲市としてどのようなおもてなしを考えているか。

答 当市では、「伊予灘ものがたり」を観光振興の目玉の一つとして位置づけ、駅舎改修への資金協

今夏から運行されている観光列車「伊予灘ものがたり」



力や乗車の記念品として、ええモンセレクション認定品などのプレゼントを行うほか、車内上映用に季節ごとの大洲を紹介するDVDを作成しているところです。

また、この列車に御乗車いただけるお客様専用の割引クーポン付き散策マップを作成し、車内で配布することとしています。このクーポン付き散策マップは、商店街をはじめとした地域の皆様の御協力により実現したものであり、「伊予灘ものがたり」で伊予大洲駅に降りられたお客様に対して、観光主要施設の多い肱南地区までを周遊していた。ため、お食事処やお菓子屋、宿泊施設などの割引サービスを提供するものです。

今後は、さらに鉄道沿線の海岸や河川の清掃、また地域沿線の皆様にも御協力をいただき、手振り運動などを展開していくことにより、訪れた観光客の皆様にも、また来たいと言っていた。ただけるようなおもてなしの体制を構築し、一人でも多くのお客様が大洲へ来ていただけますよう努めてまいりたいと考えています。

通学路の整備

問 市内で児童の列に乗車者が突っ込み、2

人の児童が怪我をする事故があった。子どもたちの安全を守るためにも、歩道を確保すべきである。歩道が整備されていない危険な通学路の現状と危険箇所に関する考えはないか。

答 通学路の整備については、平成24年度に

教育委員会や学校、道路管理者等関係機関による通学路の緊急合同点検を実施し、合同点検が必要な箇所として57カ所を抽出し、既到大洲市のホームページにも掲載しています。このうち歩道がない、歩道と車道の区別がない、市道及び道幅が狭いという箇所が19カ所あり、このうちの18カ所については、既にラバーコーンの設置や区画線の新設や引き直し、交通ルールの遵守指導等の徹底で対応してきました。この中で臥龍の湯からまちの駅「あさもや」まで、また市役所前の信号から大洲小学校前の三

グリーンベルトが設置されている通学路（柚木）



差路まで及び柵形の信号から鉄砲町間について路肩のカラー舗装化、グリーンベルト化が実施済みとなっています。対策が済んでいない新谷小学校区にある1カ所についても、今年度道路の路肩のカラー舗装化、グリーンベルト化に着工する予定となっております。

教育委員会としては、児童・生徒が安全に安心して登下校できるように、児童・生徒の安全確保と通学路の安全管理に今後もより一層努めてまいります。

